

# 2. 時差と日付変更線—世界各地の時刻

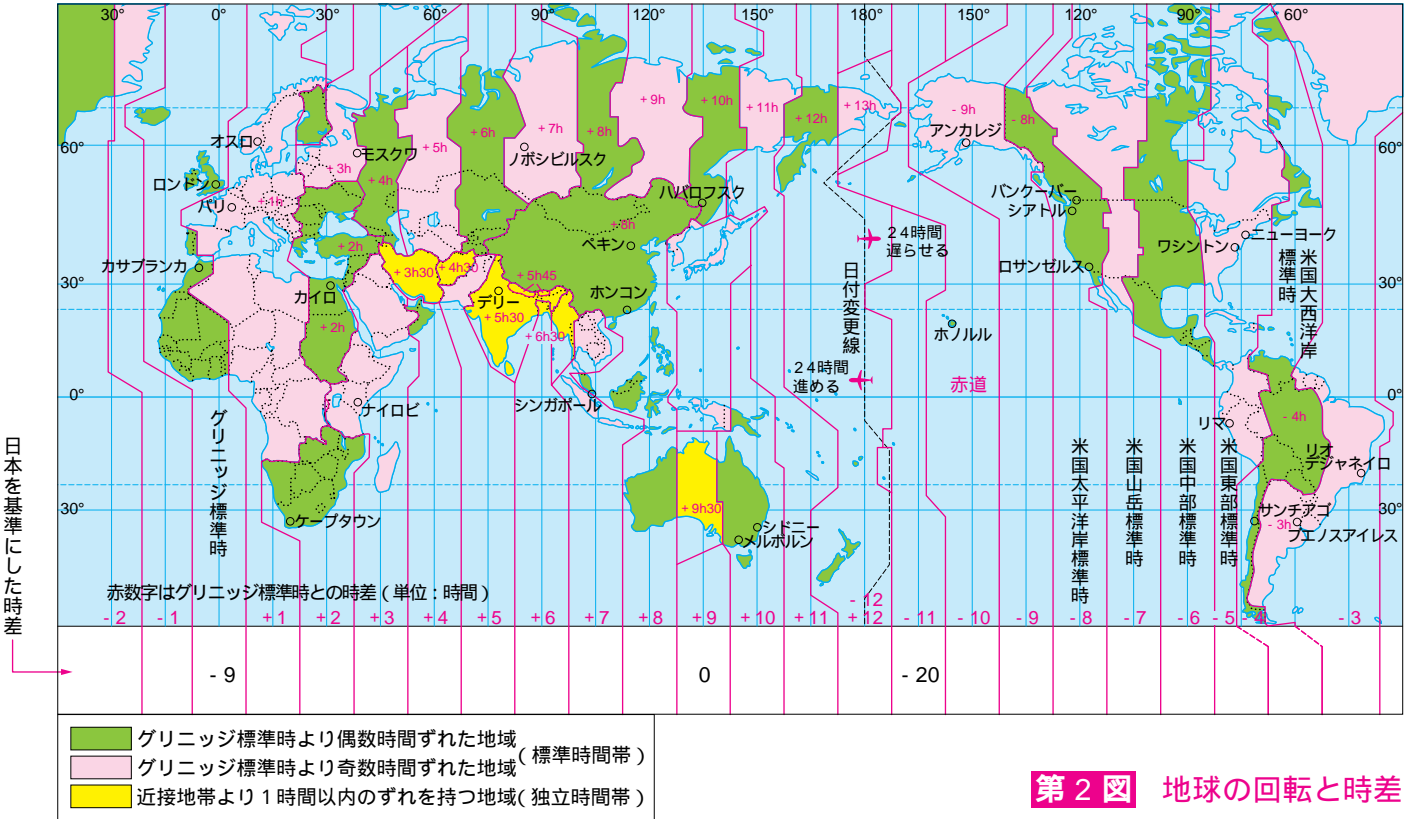
**KEY**

地球は1日(24時間)で1回転(360度)するので、「 $360 \text{度} \div 24 \text{時間} = 15 \text{度}$ 」つまり、1時間に経度15度ぶん回転することになる。そこで、時刻は経度15度ごとに1時間の違いが生じる。これが時差である。

地球は西から東へ自転しているため、西へいくほど日の出が遅くなる(時間が遅くなる)。ロンドンを通る経度0度を基準(国際標準時 = グリニッジ標準時)とし、東半球では経度15度ごとに1時間進み、西半球では1時間遅れる。

地球上の180度の経線の付近に日付変更線が設けられている。日付変更線の西側は4月1日は、東側では3月31日である。

**第1図 時刻帯図(等時間帯)**



**第2図 地球の回転と時差**

**作業**

第1図の日本を基準にした時差の空欄に数値を記入しよう。

第1図・第2図のそれぞれに、日本の標準時の原点となる明石市(東経135度)を  $\odot$  で示し、地名も記入しよう。

第1図・第2図のそれぞれの日付変更線を紫色でトレースしよう。

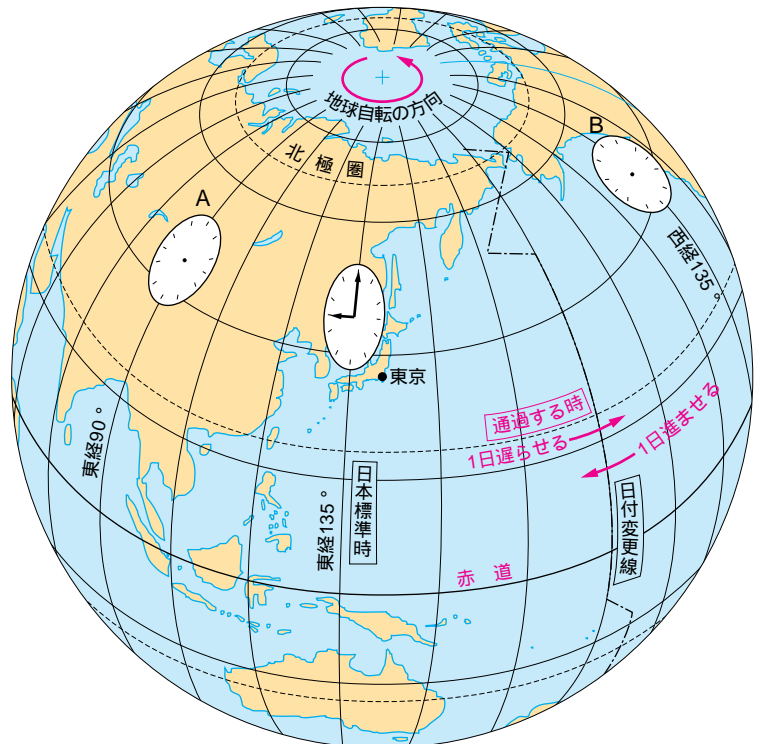
第2図に、日本が2日午前9時のときの、AとBの時刻の時計の針を記入しよう。

**問題**

第2図のAとBはそれぞれ、何日の何時か。A( 日午 時), B( 日午 時)

国土の広いアメリカ合衆国では複数の標準時が使用されている。西部のロサンゼルスが午前11時のとき、東部のニューヨークでは何時か。

( 午 時)



# 1. 世界の人口と人口問題

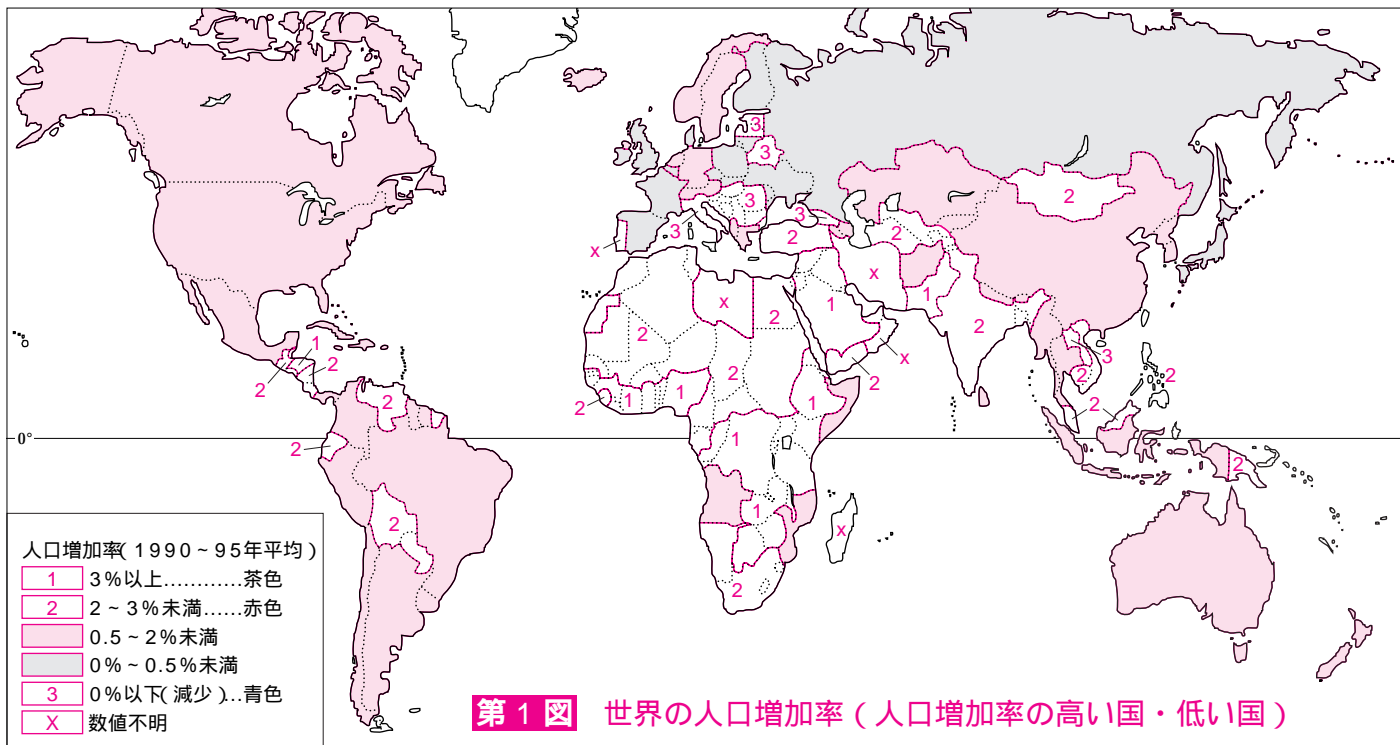
## KEY

世界の人口増加は20世紀後半以降とくに加速度がつき、1950年からの40年間で人口が倍増している。1990～95年の年平均増加率は1.6%で、国連人口基金の推計によれば、1999年に世界人口は60億人を超えた。

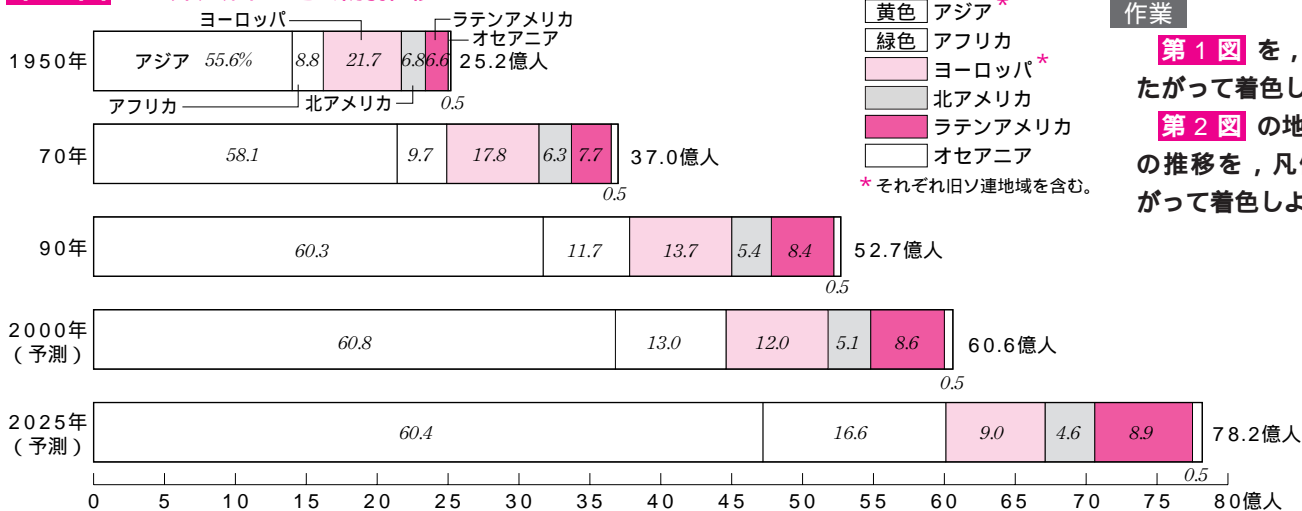
発展途上国を中心に、人口の爆発的増加（人口爆発）が起こっており、食料や雇用などの問題が切実となっている。

先進諸国では、出生率の低下や平均寿命の上昇が続き、人口の減少や高齢化が問題となっている。

人口爆発は食料や資源の消費を増やし、環境の破壊に拍車をかけるなど、人類の生存にとって重大な意味をもっているが、発展途上国の人口抑制が先進国の豊かな生活の維持のために求められることは許されないであろう。



## 第2図 世界人口の地域別推移



- 問題**
- 第1図をみて、次の問いに答えなさい。
- ア. 人口増加率の高い国々が多い地域を二つあげなさい。.....( ) ( )
- イ. 人口増加率の低い国々が多い地域を一つあげなさい。.....( )
- 第2図をみて、次の問いに答えなさい。
- ア. 1950年から2000年までの50年間で、世界の人口は約何倍になるか。.....( )倍
- イ. また、その50年間で、約何億人増えることになるか。.....( )億人
- ウ. 1950年と2000年とを比べ、世界人口に占める割合が大きく増えている地域を二つあげなさい。.....( ) ( )
- 年 組 番/氏名